

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

競技は2024年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項、申し合わせ事項によって行う。

2. 練 習

- ①練習は危険防止に十分注意して行う。競技場内もしくは競技場外園路とする。（公園側園路は禁止。）
- ②会場への投てき物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合完了後、役員の指示により競技場で行う。
- ③トラック競技開始10分前までは競技場を開放する。
- ④フィールド競技の練習は、役員の指示により競技場で行う。

3. 招 集

- ①招集は競技者係の指示に従い、本人が受けること。
- ②招集時間および完了時間は下記の通りとする。

種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド 競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	競技開始50分前	競技開始40分前
	棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

- ③招集完了時刻（移動開始時刻）に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権とみなして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から招集所において最終確認を受ける。その際、アスリートビブス、競技用シューズ、衣類の点検を受け、そのまま待機し、招集完了時刻に移動開始する。
- ⑤トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）
- ⑥出場する種目を棄権する場合、招集開始時刻までに、競技者係（招集所）に申し出ること。
- ⑦複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技役員に申し出ること。
- ⑧ウォーミングアップ中のケガ等により棄権をする場合にはTICに棄権届を提出すること。

4. 入 退 場

- ①招集が完了した者は、スタート地点（ピット）に荷物をもって移動する。
- ②トラック競技はレース終了後、腰ナンバーカードを係に渡し、各校の場所へ戻る。その際、本部前は通過しない事。
- ③フィールド競技は、終了後競技役員の指示で、最寄りの出口から退場する。

5. アスリートビブス

- ①アスリートビブスは、登録されたものを使用する。一般・小学生は、受付時配付されたアスリートビブスを使用し、競技終了後に本部室にて返却する。
- ②アスリートビブスは胸と背に、折れ曲がったりしないように四隅を確実に留めること。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでもよい。

6. トラック競技について

トラック種目はすべてタイムレースとする。

7. フィールド競技について

- ①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技を行う。
- ②リレーと兼ねて出場する競技者は、競技者係および当該種目審判員主任に申し出をし、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該種目審判主任の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。
- ③棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始30分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したい時は、直ちに当該審判員に申告すること。

④

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
中学男子走高跳	1m10/1m40	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	中学男子は 170cm以降 中学女子は 145cm以降 3cmずつ上げる
中学女子走高跳	1m00/1m30	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	
高校一般男子走高跳	1m60/1m70	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	一般男子は 200cm以降 3cmずつ上げる

中学男子棒高跳	2m00/2m50	1m80	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	以降 10cmずつ
中学女子棒高跳	1m40/2m00	1m50	1m70	1m90	2m10	2m30	2m40	2m50	2m60	

8. 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。

9. リレー競技について(リレーオーダー用紙はTICに準備)

- ①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を1部作成し、招集完了時刻の60分前までにTICに提出すること。(顧問直筆のサインを忘れないこと)
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ③リレーの招集は4人そろって行うこと。
- ④バトンおよびダッシュマークは競技開始前に競技役員から現地で配付されるものを使用する。

10. 用器具

- ①棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ②スパイクの長さは、走高跳は12mm、その他は9mm以下とする。
- ③シューズ(スパイク・ランニングシューズを含む)の厚さについての今大会の規定は以下の表に準ずる。

種目	靴底の最大の厚さ (TR5.5, TR5.13.3)	要件・備考
投擲種目・跳躍種目 ※三段跳を除く	20mm	全投擲種目と高さを競う跳躍種目に適用。 全投擲種目と跳躍種目で靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 ※ハードル種目を含み、800m未満の種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて、適応する。
トラック種目 ※800m以上の種目	25mm	リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適応する。

11. 番組編成及び結果発表

- ①各種目の結果発表は、アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。
- ②各種目の入賞は8位までとし、賞状を授与する(競技終了後、アナウンス室へ取りに来ること)。

12. 抗議

日本陸上競技連盟、競技規則TR8による。

13. その他

- ①プログラム記載事項に訂正がある場合には、顧問が取りまとめ、競技役員打ち合わせ開始前までに訂正内容を持って本部まで申し出ること。
- ②ホームストレート側の本部前からフィニッシュライン付近までは、通行しないこと。
- ③競技場内外のアスファルト部分へはスパイクで入らないこと。
- ④競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑤更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
- ⑥応援のために競技場内の芝生に入ることや、スタート後方、フィニッシュ後方に出たりはしないこと。
- ⑦各自の持ち物については自分自身で責任をもって管理し、盗難に注意すること。
- ⑧ゴミについては、各自必ず持ち帰り、競技場・駅・バス停など公共の場に捨てないこと。
- ⑨大会主催者から指定された場所以外でのテント張りは禁止する。
- ⑩テントやタープは、ロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。
- ⑪スターターより「ON YOUR MARKS」がかかったら、選手が集中できるように競技場全体で音を出さないように配慮すること。スタートの付近では特に気をつけること。
- ⑫競技者が号砲前にグラウンド(地面)及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート(フライング)となり、当該競技者は失格となる。